

都市ガスの付臭剤成分の変更について

平成 26 年 12 月
上越市ガス水道局

都市ガスの原料である天然ガスにガス特有の臭いとなる付臭剤を加えて、お客さまにガスを供給しています。このたび、付臭剤に含まれている硫黄分を減らす目的で、付臭剤の成分を変更しました。

都市ガスの原料である天然ガスは臭いが無く、微量なガス漏れでもいち早く発見できるよう保安上の目的から付臭剤を加えています。天然ガスは、硫黄分が含まれていないクリーンなエネルギーですが、硫黄分を含む付臭剤を加えるため、都市ガスにはわずかながら硫黄分が含まれます。

付臭剤の成分は、(1)人体への毒性がない、(2)一般に存在する臭いと（生活臭）と明瞭に区別できる、(3)危険を知らせるためにやや不快な臭いを有し微量でもガス漏れと分かる、(4)ガスが燃焼した後に臭いが残らない 等の特徴を備えていなければなりません。

このたびの変更する付臭剤は、ターシャリーブチルメルカプタン「TBM」とシクロヘキセン「CH」を混合した成分であり、これまでの都市ガスに含まれている硫黄分を半分以下に削減でき、環境性をより高めることができました。

なお、新しい付臭剤は、これまでの都市ガス特有の臭いより若干きつい臭いに感じられるお客様もおられますが、従来の付臭剤としての特徴には変わりありません。また、現在のご使用のガス器具及びガス漏れ警報器等もこれまでどおりご使用いただけます。

これからも、安心して上越市の都市ガスをご利用ください。

《付臭剤の成分変更地域》

上越市の都市ガスを供給する全区域

●付臭剤の成分について

■ 変更前・・・テトラヒドロチオフェン「THT」

■ 変更後・・・ターシャリーブチルメルカプタン「TBM^{※1}」とシクロヘキセン「CH^{※2}」の混合物

※1 TBM：化学式 $C_4H_{10}S$ ・・・有機硫黄化合物の一種で、臭気が強く、燃焼すると二酸化炭素、水、硫黄酸化物となる。

※2 CH：化学式 C_6H_{10} ・・・硫黄を含まず、燃焼すると二酸化炭素と水になり、硫黄酸化物が発生しない。

《問い合わせ先》

施設管理課 供給係

電話：025-522-5517（内線 281、282）